

2026年 2月7日(土) MEITO SR.HIGH SCHOOL'S 41st

ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST(第41回名東高校スピーチコンテスト)

この行事は、日常の授業で身に着けた英語運用能力を活かし、学習成果をスピーチという形で発表する本校独自の行事であり、①レシテーション(自由選択による3分以内の英文の暗唱) ②スピーチ(SDGs に関する自作の5分以内の原稿のスピーチ) ③グループレシテーション(国際英語科1年・2年によるグループでの英語暗唱) の3部で構成されています。どの部門に出場した生徒も全力で取り組むことができ、本年度も非常にレベルの高いコンテストとなりました。

本年度校内予選を勝ち抜いて本選へ出場し、見事本選入賞を果たした皆さんのコメントと、モデルスピーチの様子をご紹介します。

レシテーションの部

優勝

Rio's Speech

Osakabe Ami 1L

私は中学生の頃、名東高校のスピーチコンテストを見に来て、それ以来ステージでスピーチをすることに憧れを持ちました。そしてレシテーション部門に参加できると決まった時は信じられないほど嬉しかったです。練習では「リオのスピーチ」でセヴァン・スズキが国連の大人たちに何を伝えたかったのか考えセヴァン・スズキ自身のことについても調べました。そしてリオと自分には性格や言葉の使い方などに大きな差を感じ、どのようにセヴァンのような印象を残すかが自分の中で1番の課題でした。練習では強調したい部分はゆっくりはっきり発音をしたり、顔の表情で雰囲気を変えたり少し止まる所を作ったりなど工夫をして何通りも試し、自分なりに研究を重ねました。スピーチコンテストでは同級生や先輩達のスピーチの上手さにとても刺激を受けました。自分の新たな課題も見つけることができたので、その課題に向き合い今後に繋げていきたいです。そして新倉先生へ、何度も練習に付き合ってくださいありがとうございました！先生がかけてくれた言葉のおかげで自信を持ってスピーチができました。本当に感謝しかないですありがとうございました！



準優勝

Malala Speech at UN General Assembly Matsuura Honami 1L

レシテーション部門に参加させていただくことが決まった時、自分の未熟な英語力でコンテストを迎えることができるのか、心配でした。また、マララさんのスピーチは全体的に静かに訴えかけるように読むものだと気づいた時に、感情を表に出すことが得意な私が果たして上手にスピーチできるのか、不安になった時もありました。練習はしましたが、いまいち自分の中でこのスピーチのイメージを掴めないままコンテスト1週間前のリハーサルに臨みました。その時に、周りの子のスピーチ(発音や表現力)に圧倒され、自分はもう無理だと泣いてしまいました。出場を辞退することも考えましたが、ここまできたらやろうと担当の金丸先生と再び頑張り直すことを私の中で決めました。コンテストまでに頑張ったことは、一文一文を日本語訳して、その訳を日本語で感情を込めて読むことです。そうすることでマララさんがどんな思いで何を伝えたいのかを明確にすることができました。あとはそれを覚えた英語に直して、気持ちや表現を大切に練習しました。

私は発音は上手ではないので、そこはジャスミン先生にみていただきました。とにかく、全員に訴えかけるように、静かにゆっくり話すほど気持ちは伝わりやすい、と自分に言い聞かせながら練習しました。

コンテスト前日に金丸先生に自分のスピーチを聴いていただいた際に、金丸先生が感動した、と。当日は自信をもてと励ましてくださいました。当日はスピーチをした時の記憶はありませんでしたが、やり切ったという気持ちが強かったです。入賞した時は信じられないと思いましたが、自分の努力が結果に出たのだと思います。いつも練習に付き合ってくださった金丸先生、th の発音を何度も教えてくださったジャスミン先生には感謝しかありません。他にもアドバイスをくれた友達や親にも感謝の気持ちを伝えたいです。このスピーチコンテストを通して、自分の英語力だけでなく、周りの人の支えを大きく感じる事ができたと思います。ありがとうございました。



3位

Gender Equality Is Your Issue Too Oba Himari 1L

私はもともと、言葉以外の部分でも表現することがあまり得意ではないので、スピーチコンテストに出ることに少し不安がありました。しかし、せっかく挑戦するならしっかり伝わる発表にしたいと思い、スピーチの内容を深く理解し、感情が聞き手に届くように何度も練習を重ねました。

今回のレシテーションは国連女性機関(UN Women)が「He for She キャンペーン」活動を発表した際に、親善大使のエマ・ワトソンさんが行ったスピーチで、自分自身もその考えに強く共感しました。

女性だけでなく、男性も一緒に協力して社会を変えていくというメッセージを意識しながら、一つひとつの言葉に気持ちを込めて読みました。

入賞できたことは本当にうれしく、選んでくださった方々へ感謝しています。しかし、自分の英語力や表現力にはまだ課題があると感じたので、これからも力を伸ばしていけるよう努力したいです。



スピーチの部

優勝

Building Bridges Instead of Walls Fujimori Ameri 2L

この度はスピーチ部門で 1 位と言う結果をいただくことができ、大変光栄に思います。支えてくださった先生方や友人、そして発表を聞いてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

スピーチを準備する段階では、聞き手にわかりやすく伝わるよう工夫することを強く意識しました。内容だけでなく、身振り手振りを用いて表現すること、また特に強調したい部分はゆっくりはっきりと伝えることを心がけました。また、毎日本番と同じ場所で実際にマイクを使用しながら練習を重ねたことで、本番当日も落ち着いて発表することができました。今回の経験を大きな自信として、これからも自分の言葉で思いを伝えられるよう、さらに努力を重ねていきたいです!!



準優勝

The War That Wasn't Far Away Watanabe Fuka 2L

今回のスピーチコンテストで 2 位に入賞できて大変嬉しく思います。前回のレシテーション部門では入賞できずに悔しい思いをしたので、その時の悔しさを糧に自分にできる最大限の努力を尽くしました。少しでも時間があれば練習を重ね、録音した自分の声を聞きながら細かい修正をし、本番の前日に原稿を一部変えるなどギリギリの毎日でした。フィードバックをくれたクラスメイト、朝や夕方の練習に付き合ってくくださった LANSCA の先生方には感謝してもしきれません。これからも精進します！



3位

From Understanding to Action: Supporting India's Future

Johnston Hana 2L

今回のスピーチコンテストで 3 位という結果を収めることができ、大変嬉しく思います。昨年とは異なり、今年は構成から暗唱まで全て自分で行ったため、多くの困難がありました。スピーチの作成段階では、担当の先生に文法の細かな修正をしていただき、LANSCA の先生には発音やイントネーションを指導していただきました。また、他の出場者と互いに練習し合ったことも、スピーチの質を高める大きな助けとなりました。協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。この経験で磨いた英語力を、これからもさらに伸ばしていきたいです。



The Chain of Fear That Makes Guns “Normal” Shimizu Rion 2L

私が努力したことは、いかに相手に聞いてもらうか、伝わりやすくするか、です。

抑揚、トーン、声の強弱を意識したり、そもそもスピーチ文をすらすらと書いて読むだけではなく、文章から少し崩したりしました。また、一年生の時のレシテーションの経験を活かし、全体的により良くレベルアップさせることに力を入れました。また、発音が曖昧なところはジャスミン先生に矯正してもらったりもしました。

しかし、今の気持ちとしては、こうしようこうしようと詰め込みすぎたのが逆に裏目に出て本番でつかえてしまったのが非常に残念で悔しいです。緊張にも弱いので後で動画を見ると早口になっていた気がします。

詰め込んだ量に対して練習量が足りなかったんだと感じています。

もっと練習していたら、直前に変更しなければ、と考えていても仕方がないので、次の機会は当分先かもしれないけれど、スピーチコンテストに限らず、いろんな面で、こだわるならこだわる分人一倍練習しようと思います。

練習に付き合ってくださった先生方、ありがとうございました！



グループプレゼンテーション部門

1位 2L-B Suho's White Horse

今回、2L-Bのメンバー全員で1位を取ることができたことを、心から嬉しく思います。
このコメントを代表して書かせていただいている、2Lの竹川温人です。

本番に向けた練習の中で、私たちは全員で「スーホの白い馬」への解釈や想いを、どのようにグループプレゼンテーションに落とし込むか、また、どのような動作をすれば視覚的に面白く伝えられるかを、自分たち自身も楽しみながら考えてきました。

そして迎えた本番では、私たちが一番楽しんでグループプレゼンテーションをしていたように思います。
しかし、その本番と、そこへ向かうまでの一つ一つの過程が、当日のオーディエンスの方々に少しでも多く届いたのではないかと感じています。そして、その結果が今回の受賞につながったのだと思います。

何より、誰一人欠けることなく本番を迎え、1位をいただくことができたのは、授業時間にサポートしてくださった先生方、当日足を運んでくださったオーディエンスの皆さま、そして保護者の方々のおかげです。
メンバーを代表して、心より感謝申し上げます。

そしてこのホームページを見てる皆さん！

私たちは来年出れませんが、スピーチコンテストのグループプレゼンテーションは続きます！
少しでも興味が出たなら、いや興味がなくても是非お越しください！
きっと面白くてユニークな発表にたくさん出会えると思います！

最後になりますが、今後とも名東高校のスピーチコンテストへの温かい応援をよろしくお願いいたします！





本選出場生徒(レシテーション・スピーチ)と校長先生、教頭先生、ジャッジの方との記念撮影

当日は多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。
当日のアンケート結果をもとに、次年度以降もより良いコンテストになるよう、生徒教職員共に考えてまいります。